

令和3年度 香川県立琴平高等学校 学校評価

本校では次の教育方針のもと、本年度の重点目標を掲げ教育活動に取り組んできました。

【教育方針】

心身を鍛え、生涯にわたって学び続ける意欲を養い、地域社会の一員としての自覚と国際的視野を育み、社会の変化に主体的に対応できる心豊かでたくましい人間の育成を目指し、次のような教育方針のもと、家庭や地域との連携を図りつつ、明るく活力に満ちた学校づくりを推進する。

1. 人間や自然を愛する心を養い、心ゆたかな誠意ある人間の育成に努める。
2. 自主、自立の精神を養い、心身ともにたくましい熱意あふれる人間の育成に努める。
3. 広く高い知性を養い、郷土を愛し、社会の発展に貢献する創意に満ちた人間の育成に努める。

【本年度の重点目標】

地域社会の中核として活躍するたくましい人材の育成 — 地域で学び、地域で育つ琴高生 —

- ①基礎学力の向上 ②基本的生活習慣の確立 ③進路意識の高揚 ④地域連携の推進

今年度の教育活動に関して、自己評価、生徒からの授業評価、学校評価アンケート(生徒・3年保護者・教員)を実施しましたのでその結果を報告します。

また、令和4年2月に学校関係者評価委員会を実施し、自己評価、生徒からの授業評価、学校評価アンケートの集計結果を提示し、分析と協議を行った結果、下のような学校関係者評価をいただきました。

○学校関係者評価

<生徒からの授業評価・学校評価アンケート等について>

○授業評価において、学年が進むにつれ満足度が上がるような工夫を、さらにおこなってほしい。

○保護者が子どもの高校生活に満足していると回答している割合が高いのは、琴平高校を評価してくれている証拠である。

<教育活動等について>

○新聞等のメディアを活用して情報発信することで、多くの人に魅力が伝わり、地元住民も元気になるので、続けていってほしい。

○動画作成の現職教育や外部の専門家の先生等を招いての拡大研究授業等、有意義な取り組みだと思う。普段からの積み重ねや努力で、先生方が積極的に行動し、仕掛けていくことで周りに派生し、道が拓かれていっているの、このような取り組みを継続してほしい。

○先日、横断歩道を渡った後に、停まってくれた車に対してお礼をしている生徒を見かけて、温かい気持ちになったので、あいさつ等、当たり前前の方が当たり前前に行ける生徒を育てていく教育を継続してほしい。

○新型コロナウイルスの影響で発想の転換が求められている状況において、順応性や対応していく力が必要で、今の生徒に合った方法を見つけていってほしい。

○高校生はしっかりしていそうで、まだまだ子どもなので、卒業後、厳しい世界でもやっていけるように、親身になって進路の相談にのってくれる親以外の大人、先生方の存在が大切だと思う。

○昔の18歳と今の18歳は全然違うが、人間の基本的な部分は変わらないと思うので、様々な経験ができる場を準備して、成長させていってほしい。

○自己推薦選抜を受験する生徒が増えているのは、幅広く魅力を発信できているからである。地域に密着し、充実した、そして楽しい学校生活が送れるよう、今後も引き続き琴平高校を盛り上げていく教育を継続してほしい。

	本年度の重点目標	具体的取り組み	実施状況	取り組みの見直し	実施状況	評価と来年度の課題
		(数値目標)	(中間評価)		(最終評価)	
総務	地域との連携によってボランティア活動や体験学習の機会の増加及び質の向上を図る	地域との連携強化 ボランティア活動参加のべ数2,500人以上	C	新型コロナウイルス感染症の影響によりボランティア活動ができていない 状況が好転するにつれて呼びかけ、活動参加生徒数を増やしたい	C	新型コロナウイルス感染症の影響により、希望者はいたものの、実施には至らなかったイベントが多数あった 引き続き、呼びかけを続けていく
	学校図書館を活性化し、読書活動を推進する	「朝の読書」による読書の啓発 図書貸出数前年度比2%増	C	貸出数は14%のマイナス 引き続き、図書委員による本の紹介、読書週間での呼びかけ、生徒の希望図書の充実等で貸出数増につなげたい	C	貸出数は前年度比15%減 今後、生徒への声かけやより生徒のニーズにあった図書や展示コーナー等を充実させ、貸出数の増加を図る
教務	生徒が興味・関心を持って取り組む授業を行い、学力をつけさせる	ICT機器やクラウドプラットフォームを活用し興味・関心を持てる授業を行う 分かる授業作り：アンケートによる適宜改善 アンケート「よく分かる＋わりと分かる」：80%以上	B	ICT機器やクラウドプラットフォームの活用は進んでおり、自宅待機生徒に対するリモート授業も実施できた 授業アンケートを10月に実施したうえで、具体的な取り組みの見直しが必要である	A	授業アンケート(A:当てはまる B:やや当てはまる) ○説明・板書は分かりやすい A:64% B:31% ○進度はちょうどよい A:67% B:28% ○教え方・進め方に工夫を感じる A:66% B:29% 1年はAよりBの割合が高く、その分析と対策が必要である
	地域連携を進め、地域に愛される学校づくりを推進する	HPやYoutubeを活用し、「学校の見える化」や魅力の発信を推進する 1日体験入学参加人数を前年度より増やす	C	HPやYoutubeにより学校の魅力や生徒の活躍を発信する機会は増えている しかし1日体験入学の参加者予定者は昨年度に比べ90名ほど減っており、日程の見直しも含めた検討が必要である	B	HPやYoutubeにより学校の魅力や生徒の活躍を発信する機会はさらに増えている また11月20日(土)に「秋の1日体験入学」を追加で実施し、33名の参加を得ることができた
生徒指導	遅刻者数の削減	担任、学年団と連携し生徒一人ひとりに応じた指導を行う 遅刻者数を前年度より減少させる	A	担任、学年団、教育相談と連携し生徒一人一人に応じた指導を行っている。教育相談的理由を除けば減少傾向にあるので、引き続き指導を続けたい	A	担任、学年団、教育相談と連携し生徒一人一人に応じた指導を行うことができ、目標を達成することができた
進路指導	進路意識の高揚を図り、生徒一人ひとりの進路実現を支援する	進学希望生徒 2年生のうちに志望大学（短大専門学校等）の学部・学科を決定し、進路希望調査で回答できる生徒の割合80%以上	B	コース選択の際、具体的な志望校を想定して選択できるように、コース選択票に進路希望調査項目を追加する	B	2年生1月時点で具体的な志望校、希望職種を回答できる生徒の割合は約75%であった 来年度は目標の見直し、指導改善の必要がある。
	地域の中で自分の役割を果たすために必要となる基礎学力を身に付けさせる。	就職希望生徒 2年生のうちに希望職種や企業を第3志望まで回答できる生徒の割合80%以上	C	9月実施の学びの基礎診断の結果分析会を実施し、基礎学力向上を目指して今後の指導に活かす	A	9月学びの基礎診断結果分析会を実施し、担任や教科担当が今後の指導の参考にすることができた
	授業研究・学力向上の取り組みの改善にむけて共通理解を図る。		B	拡大研究授業を実施し、授業改善、学力向上につなげる	A	第1回拡大研究授業では各教科の教員が参観し、各々の授業改善につなげることができた 2月実施の第2回ではさらに学力向上に活かしたい
保健・相談	生涯を通じて健康な生活を送るために、健康について自ら考え実践する力を育てる	健康診断の結果からの病院へかかる受療率の向上のための指導、助言を行う 受療率50%以上	—	新型コロナウイルスが理由で、健康診断が終わっていないため、中間評価を出すことができない 引き続き、受療率向上のための指導、助言を継続する	C	受療率は11%(1月時点)と低く、新型コロナウイルスを理由とした受診控えや、健康診断の延期による、夏休みの受療ができなかったことが考えられる あらゆる機会を利用して、受療の意義について、指導、助言を継続したい
	生徒の悩みや困り感の早期発見、早期対応	生徒の多様なニーズに対応できるよう担任や学年主任と連携を図る 保護者の協力や理解が得られるよう、SC・SSWと関係職員の連携体制を工夫する	B	保護者との連携をはかり、必要な場合は医療機関等との連携を実施するようにする また、関係職員のケース会を効果的に実施し、内容を支援に生かせるようにする	B	生徒支援委員会やSC・SSWとの情報交換より、困り感を抱える生徒の情報共有し、連携対応につなげることができた 関係職員の連絡を密にし、早期発見・早期対応にさらに努めていきたい
人権・同和教育	教職員の人権問題に関する認識の深化や、授業における指導力の向上をはかる	現職教育、人権・同和教育LHR事前研修、各種研修会への参加等、教職員の人権・同和教育に対する認識を深めるための機会を設定する	A	県教委主催の研修会に複数の教員が参加を希望した（ただしコロナで研修自体が中止） 外部講師を招いての現職教育を実施することができた	A	教員の人権問題に関する認識の深化をはかれたと考える様々な人権問題の解決を自らの課題として認識できるような研修機会の確保に今後も努める
特別活動	特別活動に積極的に参加することを推進し、協調精神や自己肯定力の育成を図る	部活動参加を積極的に呼びかける 部活動入部率：90%以上	C	部活動加入率73.0%(1年79%、2年71%、3年68%) 1,2年生を中心に、部活動の意義を理解してもらうための工夫をし、さらに部活動参加を呼びかけていくことが必要	C	部活動加入率73.0%(1年67%、2年76%、3年76%) コロナ禍の中活動に制限がある状況が続いているが、今後も継続して部活動の意義を呼びかけていく 新入生に対して部活の魅力を伝え、より多く参加させる工夫が必要である
	学校内外の活動を通して、よりよい人間関係を築こうとする態度を育てる	各行事における生徒の役割を明確にする 事後アンケート「行事・クラスに貢献」：80%以上	B	貢献度：体育祭71%、琴高祭:77%(未回答:23%・16%) コロナ禍で制限があるので生徒が行事に満足できていない点がある また、未回答が多いことから関心の低さもみられる 積極的に行事に参加できる工夫が必要である	B	貢献度:体育祭71% 琴高祭:77%(未回答:23%・16%) クラスマッチ:67%(未回答29%) 回答者のほとんどは行事に対して「貢献できている」と答えているが、依然として未回答者が多い アンケートの取り方や、積極的に行事に参加できるような工夫が必要である
1年団	学習習慣を確立させ、基礎学力を身に付けさせる。	漢字テスト合格率94%以上 英単語テスト合格率87%以上	B	今までの点数を振り返らせ、毎回目標を明確にしてテストに臨ませる (漢字92.5%、英単語87%)	A	英単語テスト87.6%、漢字テスト93.5%。来年度も事前の対策にしっかりと取り組ませたい
2年団	自己管理の確立	クラウドプラットフォームを活用して学習時間を入力し、学校・家庭生活を充実させる 入力生徒:80%以上	B	昨年から配信に関心のある生徒は定着しているが、定着が難しい生徒も多くいる 緊急時の連絡等もあるので根気強く声かけをするとともに、進路に必要な学習定着等に活用していきたい 入力日数平均52% (90日/174日)	B	定着ができていない生徒は、進路意識を高め情報収集をしたり、学校生活のスケジュール管理等ができたりしている未定着の生徒に対する指導も時間をかけて丁寧に行っているが、引き続き継続が必要である 入力日数平均54.3% (157日/289日)
3年団	社会に出るための基礎的な学力・基本的なマナー（時間を守る、服装等）を身に付けさせる。	漢字テスト・英単語テスト：合格率80%以上 頭髪・服装違反：5%以下	B	数値目標が達成していない 生徒自身に目標の必要性を自覚させる工夫が必要である	B	数値目標は達成できなかったが、生徒たちの頑張りは感じた 基本的なマナーが身についた生徒も増えたが、自分への厳しさをどう身につけさせるか、課題が残った

令和3年度 生徒からの授業評価

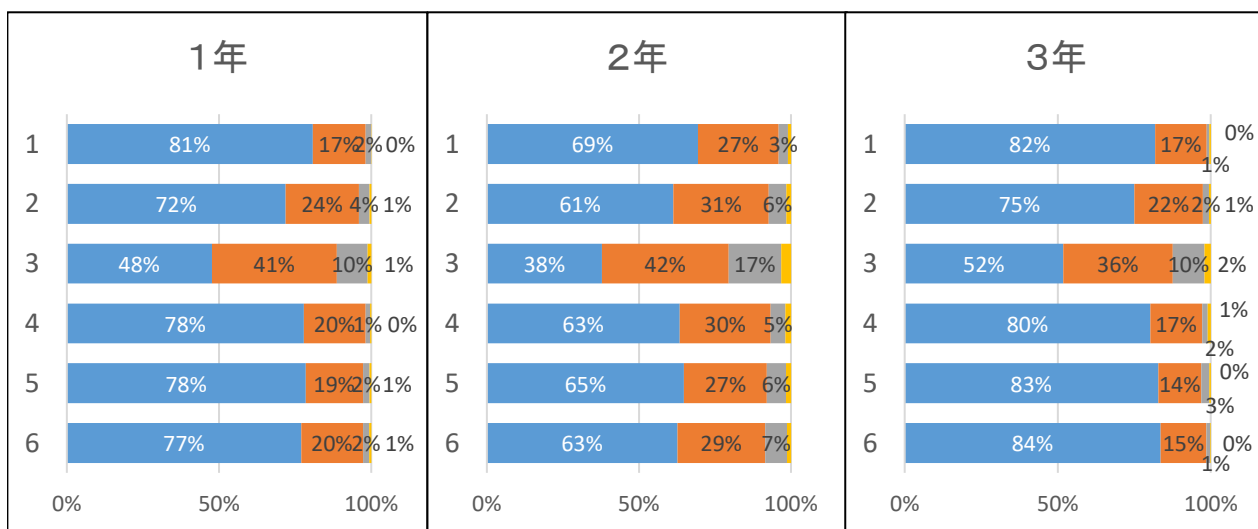
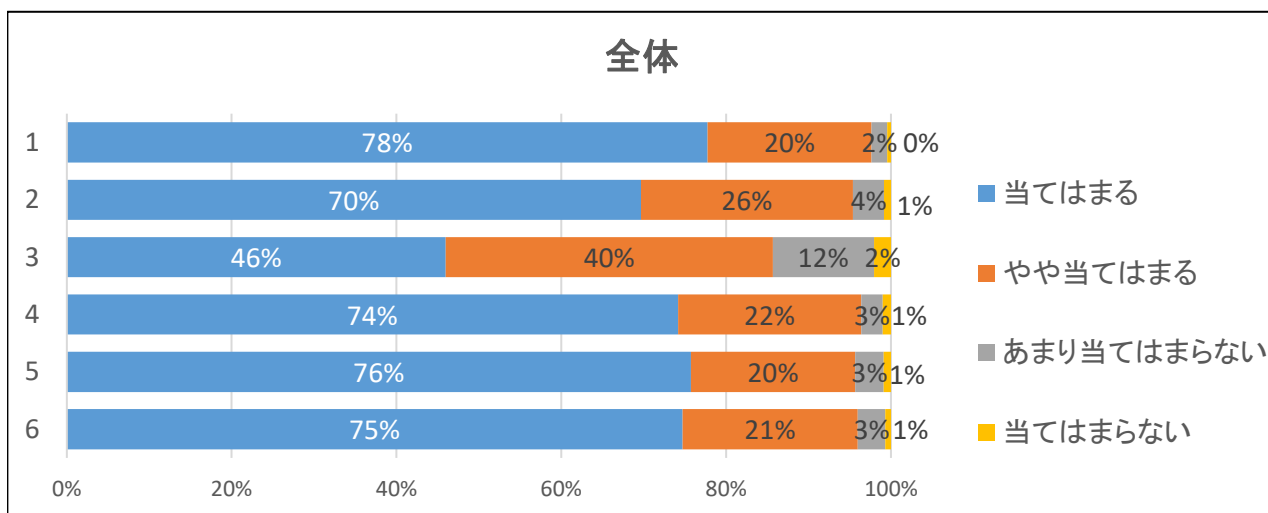
令和3年10月実施

【質問事項】

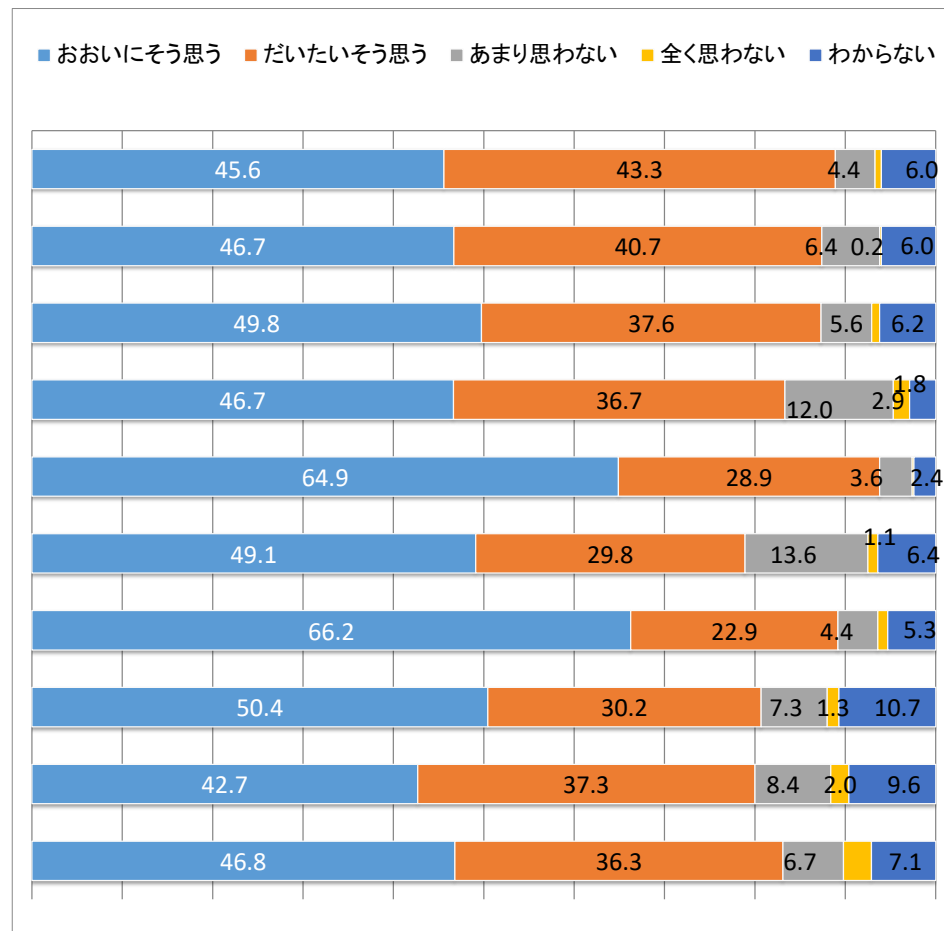
自己評価	1	授業に集中してまじめに取り組んでいる
	2	授業の準備する、課題を期日に提出する、予習復習をするなど、努力をしている
	3	努力した成果が成績に表れている
授業評価	4	先生の説明や板書はわかりやすい
	5	授業の進度はちょうどよい
	6	教え方や進め方に工夫を感じる

【選択肢】

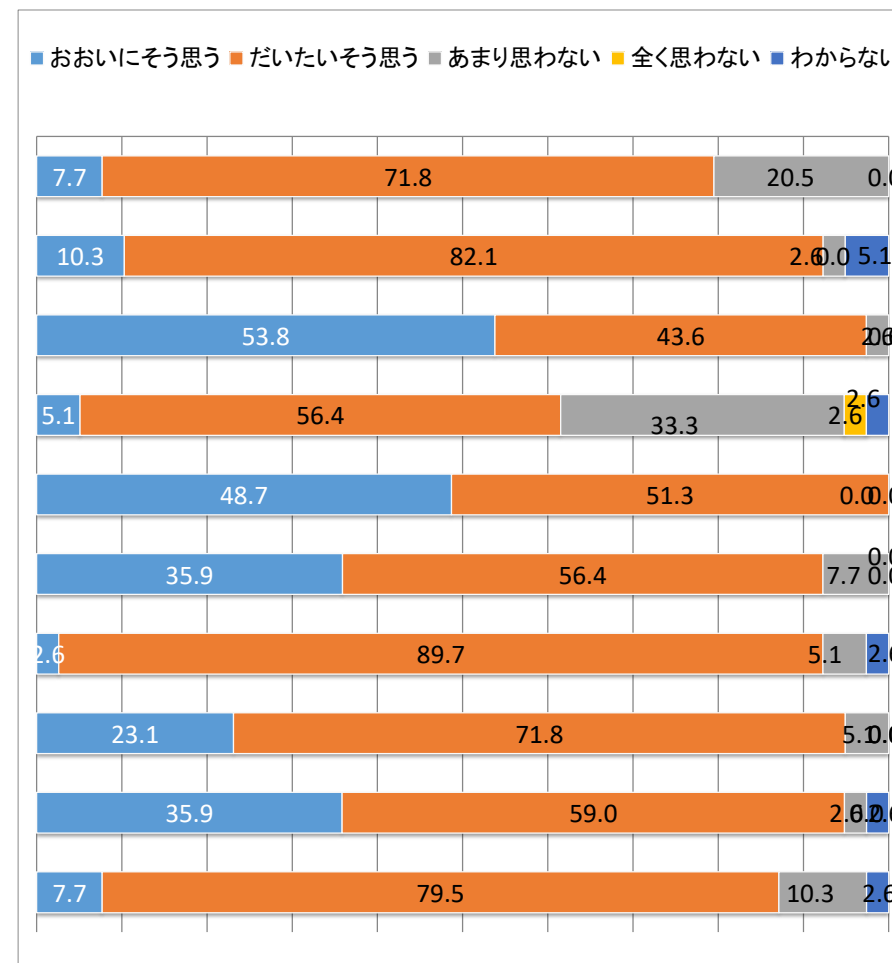
①	当てはまる
②	やや当てはまる
③	あまり当てはまらない
④	当てはまらない



		おおいにそう思う・だいたいそう思う(%)	平均値(4段階)
1	生活面の指導により、きちんとした生活態度やマナーが身についた。	88.9	3.4
2	コース選択や進路決定に向けて、適切な指導やアドバイスを受けた。	87.4	3.4
3	進路見学会や進路相談会は、進路について考える上で有意義であった。	87.4	3.5
4	定期考査、課題テスト、漢字・英単語テストに向けて、よく頑張った。	83.4	3.3
5	体育祭や文化祭などの学校行事に、積極的に参加した。	93.8	3.6
6	部活動やボランティア活動など、自主的な活動を通じて心身ともに成長した。	78.9	3.4
7	差別やいじめを許さない環境で、安心して過ごすことができた。	89.1	3.6
8	悩みがあれば、いつでも相談でき、アドバイスや支援を受けられる環境にあった。	80.6	3.5
9	学校からの文書やホームページ、classiを通じて、琴平高校のことをよく知ることができた。	80.0	3.3
10	琴平高校での高校生活に満足している。	83.1	3.4



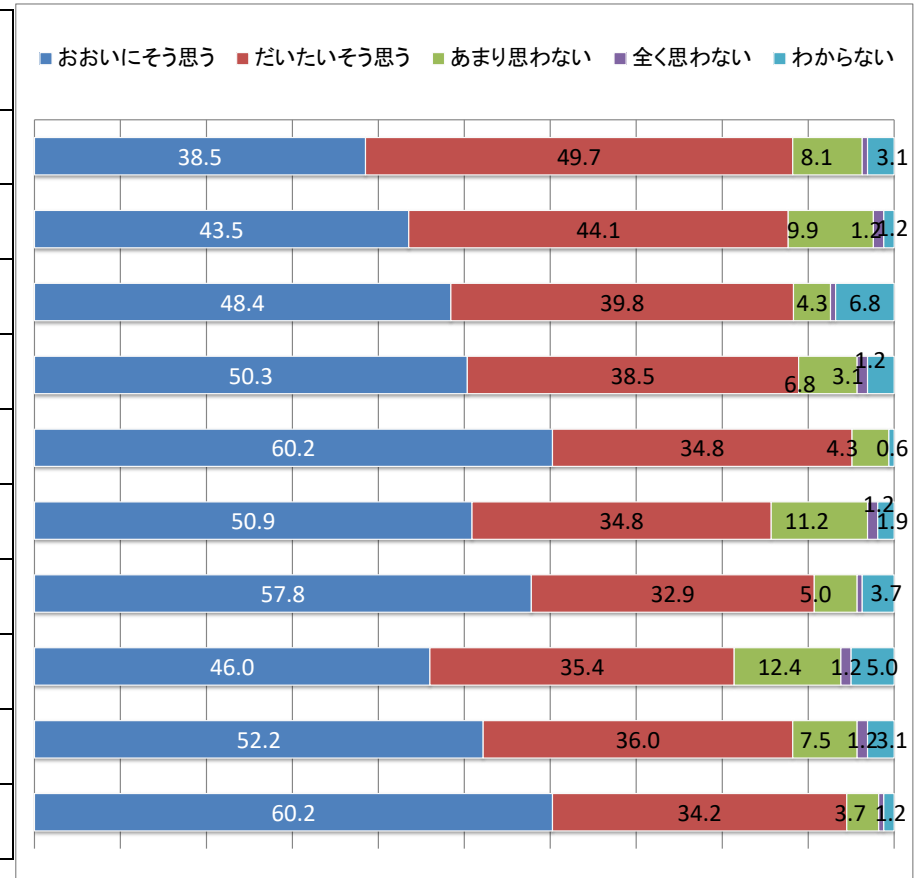
		おおいにそう思う・だいたいそう思う(%)	平均値(4段階)
1	生活面の指導により、きちんとした生活態度やマナーが身についた。	79.5	2.9
2	コース選択や進路決定に向けて、適切な指導やアドバイスを受けた。	92.4	3.1
3	進路見学会や進路相談会は、進路について考える上で有意義であった。	97.4	3.5
4	定期考査、課題テスト、漢字・英単語テストに向けて、よく頑張った。	61.5	2.7
5	体育祭や文化祭などの学校行事に、積極的に参加した。	100	3.5
6	部活動やボランティア活動など、自主的な活動を通じて心身ともに成長した。	92.3	3.3
7	差別やいじめを許さない環境で、安心して過ごすことができた。	92.3	3.0
8	悩みがあれば、いつでも相談でき、アドバイスや支援を受けられる環境にあった。	94.9	3.2
9	学校からの文書やホームページ、classiを通じて、琴平高校のことをよく知ることができた。	94.9	3.3
10	琴平高校での高校生活に満足している。	87.2	3.0



令和3年度 学校評価アンケート(3年生保護者対象)

令和4年1月実施 回答者数(161名)

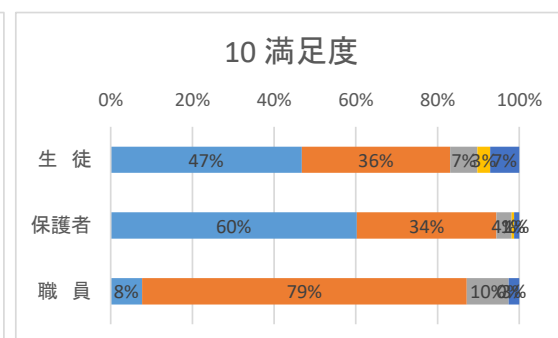
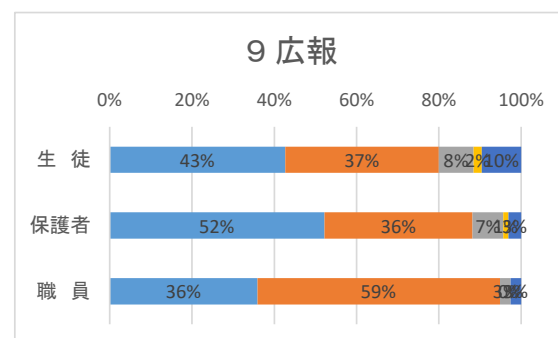
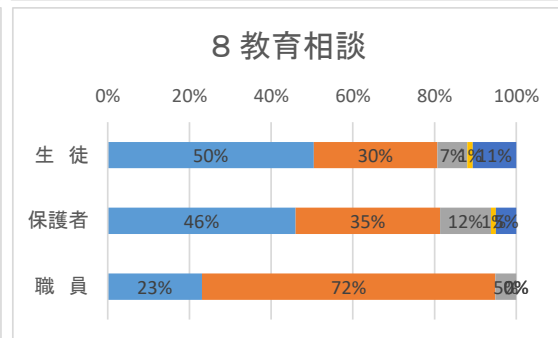
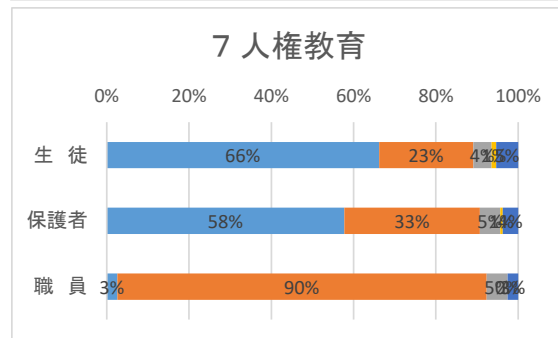
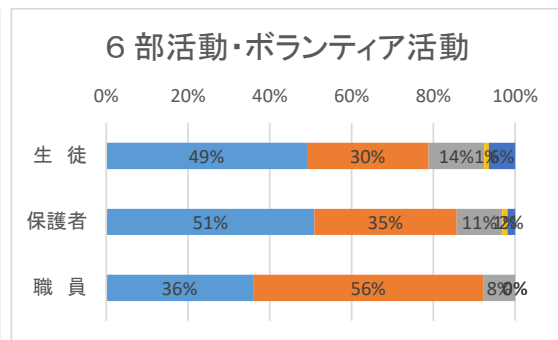
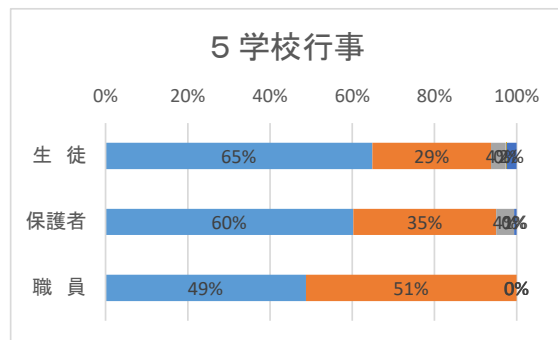
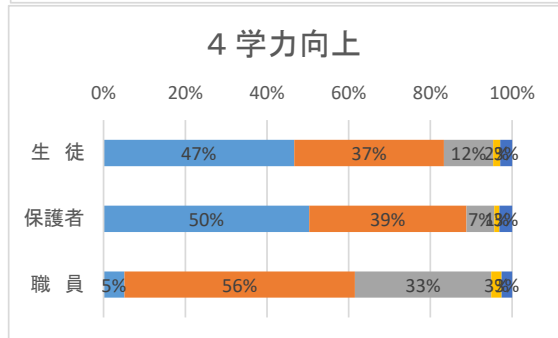
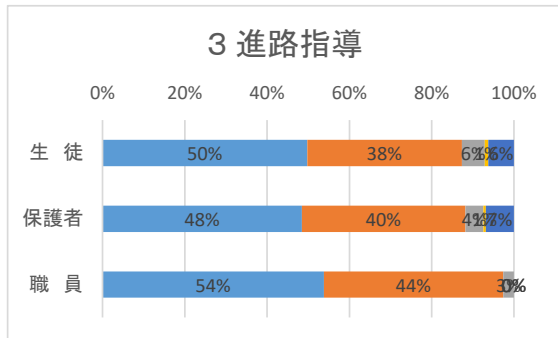
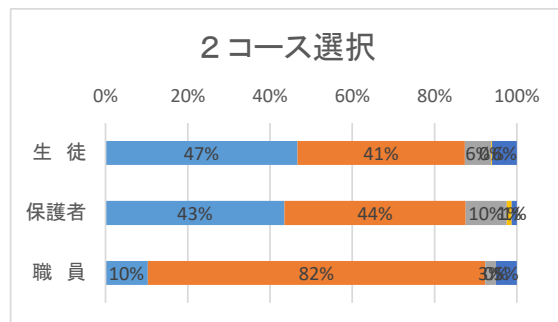
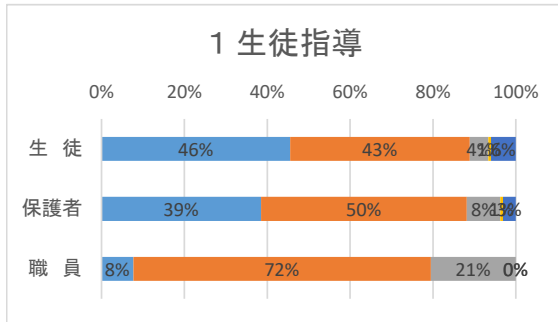
		おおいに 思う・だいた いそう思う (%)	平均値 (4段階)
1	生活面の指導により、きちんとした生活態度やマナーが身についた。	88.2	3.3
2	コース選択や進路決定に向けて、適切な指導やアドバイスを受けた。	87.6	3.3
3	進路見学会や進路相談会は、進路について考える上で有意義であった。	88.2	3.5
4	定期考査、課題テスト、漢字・英単語テストに向けて、よく頑張った。	88.8	3.4
5	体育祭や文化祭などの学校行事に、積極的に参加した。	95.0	3.6
6	部活動やボランティア活動など、自主的な活動を通じて心身ともに成長した。	85.7	3.4
7	差別やいじめを許さない環境で、安心して過ごすことができた。	90.7	3.5
8	悩みがあれば、いつでも相談でき、アドバイスや支援を受けられる環境にあった。	81.4	3.3
9	学校からの文書やホームページ、classiを通じて、琴平高校のことをよく知ることができた。	88.2	3.4
10	琴平高校での高校生活に満足している。	94.4	3.6



その他のご意見

- ・面接の日程の通知がギリギリすぎて困った。
- ・アルバイトについて、条件付きで可能となるよう、制限を緩めてほしい。他の保護者からもよく聞きます。
- ・ホームページの部活動の写真を在籍中の子どもたちの写真にしてほしかった。優勝とかはしていなくても、女子バレー部など、頑張っている子どもの姿を見たかった。
- ・体育館のトイレが何とかならないものかと思えます。
- ・コロナ禍で、全校集会など体育館で行っているのが、本当に必要なのかと驚いた。
- ・琴平高校で学んだことは、これからの生活ですごく役に立つと思う。
- ・琴平高校に入学して、将来の夢や友達、先生に恵まれたことに感謝しています。
- ・進路について親身になって考えてくださり、無事進路が決まって安心しています。
- ・いろんな面で成長したと思えます、ありがとうございます。
- ・コロナ禍で授業も部活動等もままならず先生方も大変な3年間だったと思えます。無事大学に合格できたのも子どもの希望する進路への指導やアドバイスのおかげです。
- ・部活動でも学校でのことや進路のことをいつでも相談でき、3年間安心して学校生活を過ごすことができました。
- ・コロナに振り回された高校生活でしたが、限られた中で学校生活を楽しんでいました。
- ・琴平高校の行事は、独特なものが多く、良い経験になったと思う。
- ・様々な経験を通して、成長することができた。
- ・琴平高校に進学できたことがとてもうれしく、子どもの成長に合った高校生活が送れました。

令和3年度 学校評価結果 比較



・ほとんどの項目で生徒、保護者、教員ともに「おおいにそう思う、だいたいそう思う」が80%を越えているが、部活動・ボランティア活動の生徒のみ79%で80%に届いていない。
 ・職員の「おおいにそう思う」評価が低い。まだまだ指導する余地があるのでは、という自己反省の結果であると考えられる。